

朗読・群読の教育的効果～話し合い～

朗読・群読に関わるグループ学習の中で、各自の考えをもとにした話し合いが成立したか

《生徒の自己評価カードから》

- 「扇の的」などの古文では、感情を分かりやすく表現できるのだが、漢詩だと、どこを強くしたり弱くしたりなどがはっきりと決められなかった。群読によってみんなとのチームワークもよくなるし、他の人のよい所を見つけることができるから群読は本当に素晴らしいと思う。これからもみんなで群読をしたいと思っている。
- 群読のグループ台本では、きちんと話し合ってつくることができた。でも、本番では反省する点がいくつかあったので、今後この反省を生かしたい。とても楽しく学習することができた。
- 今回の授業は、グループなどでみんなで話し合い協力して台本をつくったりして、とてもおもしろかったし、だんだんやっていくうちに話の内容などもよくわかった。
- 群読では、班で協力すると楽しいし、あなるほというような意見もあるので、よいと思った。他の班の人たちの発表がすごくうまかった。
- グループで協力して台本をつくり、練習し、発表することができた。群読はちょっと速く読みすぎたかもしれない。
- 群読すると枕草子の文もわかりやすい。みんなで話し合えて楽しい。もう少し声を出して発表したかった。
- グループ学習だったので話し合いができ、楽しい授業だった。
- 1時間で作戦を立てて群読したが、はじめは少ない時間だからきれいにまとめるのは無理かなと思った。しかし、終わりにはけっこうきれいにまとまったのでよかった。
- みんなと楽しく読めてうれしかった。ハキハキということができたのでよかった。
- みんなで読んでみると、一文一文の感情に気をつけることができ、作者の気持ちを読み取れた。また、その文にあわせてどの人が読むのが適切か考えることもできた。
- グループで部分で部分で強調するところなどを調整できた。しかし、発表のとき、下を向いて読んでしまったのであまりよくなかった。
- 練習のときよりうまくできたとし、話し合いのときもみんなで協力してできたのでよかった。
- グループの人たちと話し合っ、自分の考えを言えたのでよかった。できあがりもよかった。
- 一人で読むより分担してやって、みんなで読んだほうが楽しいしわかりやすい。
- やっぱり読むときには、一人一人の個性がでる。この部分の気持ちの入れ方なども勉強になり、とてもおもしろかった。
- 最初は2、3人のほうがよいと言っていたけれど、やってみると実際は6人ぐらいのほうが大きさを調節したりできるので、6人ぐらいのほうがよかった。
- みんなで群読して、人々の個性が出せたと思う。

《生徒の自己評価結果から》

- 話し合い成立の鍵を握っている「個人台本」についての取組を見てみると、『枕草子』では約8割、『夕焼け』では9割以上の生徒が、おおむね作成することができたと答えている。このことが活発な話し合いの下地になっていると考えられる。その裏付けとして『夕焼け』の学習では9割以上の生徒がグループの話し合いの中で自分の考えを言えたと答えている。
- 話し合いの結果であり記録でもある「グループ台本」の作成状況を見てみると、『枕草子』では10割、『夕焼け』でも10割、つまり全員の生徒が台本はできあがったと答えている。集計結果から判断して、グループ学習において、各自の考えをもとにした話し合いは成立していたと考えられる。